

学校経営全体計画

令和8年度
東広島市立風早小学校

風早小



学校教育目標

未来志向で考え行動・挑戦する児童の育成

育てたい資質・能力

- 自律性** 学ぶことに興味や関心を持ち、自分で考え、判断し、行動する。
- 協働性** 対話等の活動を通して、多様な考え方や特性を認め、自己の考えを広げ深める。
- 思考力** 既にもっている知識を問題解決のために活用し、自力解決を図る。

めざす児童像

- 自分で考え、行動できる子
- 相手の立場を理解し、互いに協力し合う子
- 見通しをもって、挑戦しようとする子
- 学校や地域を愛する子

めざす教師像

- 自ら学び続け、子供を主役にできる教職員
- 子供を見取り、やる気を育てる教職員
- チームとして、組織的に対応できる教職員
- 家庭・地域と理解し合い、協働できる教職員

確かな学力 「問い」をつくる力の育成と、協働による「立ち止まり」

- **学びの土台となる学級づくり・学習規律の確立**
 - ・児童が安心して失敗でき、自分たちで規律を守る学級づくり
 - ・互いを尊重する働き方のスキルを徹底
(「最後まで聞く」「相手の意見に『なるほど』から始める」)
 - ・「自律的」な学びのルールを徹底
(「先生に言われたからやる」のではなく、「自分の学びのために必要だから守る」という意識に変える)
- **「問い」をつくる力の育成**
 - ・「本物」の多角的な提示と問いを引き出す環境構成
 - ・思考を揺さぶる比較検討の場面や考えを共有する場面の設定
 - ・ICTの効果的活用と読書の奨励
- **協働による「立ち止まり」**
 - ・話し方、聞き方、話し合いの仕方の系統的な指導
 - ・思考の再構築の場にするための「立ち止まり」
(「問い」の中間共有の場の設定、「どう考えが変わったか」に焦点を当てる、外部の視点を取り入れる)
 - ・学びを自分事から社会(地域)へつなげるアウトプットの多様化
- **基礎学力の向上**(児童の実態把握・パワーアップタイムや放課後学習教室「はやたはら」の活用)
 - ・レディネステスト等で一人一人のつまずきの原因を明らかにし、指導に活かす。
 - ・個に応じて、指導方法・教材や学習時間等の柔軟な提供・設定を行う。

自ら学びを調整し、挑戦する児童の育成をめざした授業改善

豊かな心

- **生活態度・規範意識の育成**
 - ・風早プライドの徹底(挨拶・返事・掃除)
- **児童の自己肯定感の向上**
 - ・校長表彰
 - ・異年齢集団活動(縦割り班活動・児童会活動等)の充実
- **読書習慣の定着(朝読書)**
 - ・心を落ち着かせ、集中力や落ち着きを培う

たくましい体

- **基本的な生活習慣の向上**
 - ・睡眠時間の確保、メディアコントロール
- **運動に係る自己記録の更新**
 - ・日常的な運動習慣の形成
 - ・体育授業の工夫
- **児童会によるプレイタイム**

コミュニティ・スクールの充実